

開講科目名 / Course	養護実習 I	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	児童生徒及び教職員との交流を通して、教師に求められる資質、自らの教師としての適性について省察する。養護実習では、学校への参加を通じて、学校で展開される教育活動、教職員及び児童生徒の学校での生活を、自身の体験を通して理解することを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公教育機関である学校が、どのような理念・体制の下、運営されているのかを説明できる。 2. 学校の教育活動がどのように展開されるのかを、教師としての立場から理解し、説明できる。 3. 担当した学年の児童生徒の学校における心身・生活の状況を説明できる。 4. 実習期間中の体験を、記録として整理する。 	
DPとの対応	2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	<p>実習を通して、以下の内容についての学びを深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童生徒、校内環境、教職員の職務についての理解 2. 学校運営計画、教育課程、校務分掌、服務規程など学校を支える制度についての理解 3. 校区を対象とした地域特性の理解 <p>実習校：大分県内の小中学校で実施する。 実習期間：2022年2月中旬～下旬の1週間（実習校と調整して決定する）。</p>	
その他の授業の工夫	実習期間中に、担当教員が実習校を巡回する。	
時間外学修	その日の実習で行われた講話内容、授業参観記録、日誌を記載し、翌日朝、実習校の担当教員の確認を受ける。	
評価方法と評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・実習校による態度・意欲面を中心とした評価（50％） ・実習日誌の記載事項に基づく知識、思考、表現面を中心とした評価（50％） 	
テキスト		
参考書	改訂 養護実習ハンドブック（東山書房）	
履修する上で必要な要件	3年次までに開講される教職単位が履修済み（見込み）であること。	
その他	はじめての実習です。まずは、子どもたちとの交流をしっかりと楽しんでください。自分自身が子どもの目から見て楽しい大人であること、自分の感情状態を自分で調整することを、今まで以上に真剣に考えてください。学校で体験する様々な出来事を通して、色々なことを考え、感じ、自らの課題を発見し、今後の進路を現実的な課題として、引き受けることを期待しています。	
教員の実務経験	有・無 内容	有 吉村匠平：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校での教育相談 関根剛：臨床心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無 内容	有 小学校教諭、臨床心理士
実務経験をいかした教育内容	巡回指導時に、機会があれば教室の環境構成について指導する。	